

I 平成24年度事業実績

1 概要

本県水田農業の経営安定と生産力の確保を図り、食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持することを目的に、農業者戸別所得補償制度を活用し、戦略作物の生産振興や米の需給調整の推進を図った。

農業者戸別所得補償制度の導入後3年が経過することから、同制度を活用して農業経営の安定化に資するため、先進事例の取組事例集の作成や研修会を開催した。

需給調整の推進と水田の有効活用を図るため、新規需要米（飼料用米、米粉用米、WC S用稲）、加工用米、備蓄米を重点作物として推進した。特に、畜産が盛んな本県では、「飼料用米の生産拡大に向けたプロジェクトチーム」と連携を図り、飼料用米の取組を推進した。

また、千葉県担い手育成総合支援協議会、千葉県耕作放棄地対策協議会との連携により、集落営農の法人化支援等担い手の育成確保、農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用に向けた取組を実施した。

2 事業実績

(1) 農業者戸別所得補償制度推進事業

農業者戸別所得補償制度を円滑に実施するため以下の推進活動を実施した。

- ア 制度説明会、各種研修会の開催
- イ 各地域協議会に対する指導、助言
- ウ 啓発資料の作成、配布

(2) 需給調整及び戦略作物の生産振興

主食用米の需給調整と水田の有効活用を図るため、新規需要米、加工用米、備蓄米の取組を推進した。

- ア 農業者と実需者との連携への支援
- イ 「飼料用米の生産拡大に向けたプロジェクトチーム」と連携した推進

(3) 担い手の育成確保及び農地の利用集積

担い手の育成や農地利用集積の促進、「人・農地プラン」等について各種説明会研修会を開催した。また、集落営農の法人化に向けた支援を行った。

(4) 耕作放棄地の再生利用

耕作放棄地再生利用の円滑かつ迅速な実施に向けて、検討会等の開催や啓発資料の作成・配布を行うとともに、地域協議会等への指導・助言を行った。

(5) 大豆・麦等生産体制緊急整備事業

大豆・麦等の生産拡大を図るため、必要な機械の導入、新品種の転換、ほ場の改善などを支援するため、各地域協議会への周知等を行った。